

自家用火力発電設備建設事業に係る環境影響評価準備書に対する
環境の保全の見地からの意見

1 温室効果ガス等に関する環境影響評価について

(1) 排出量について

環境影響評価準備書において、施設の稼動に伴い、1年当たり40万8,000トンの二酸化炭素を排出すると記載されているが、その排出量が北九州市全体の二酸化炭素排出量に対して占める割合を環境影響評価書に記載すること。

(2) 市民への情報の提供について

環境影響評価準備書において、施設の稼動に伴い発生する温室効果ガスへの環境保全対策が記載されているが、地球温暖化に対する市民の関心が高まっていることから、当該対策の内容及びその効果を市民に周知することとし、その周知方法について環境影響評価書に記載すること。

2 廃棄物について

工事の実施及び施設の稼動に伴い発生する廃棄物については、環境影響評価準備書に記載したとおり、発生量を極力抑制し、発生する廃棄物はできる限り再資源化するよう努めること